

Bagus

平成31年2月

障害児・者支援



マレーシア教育局

Vol.14

バナナのおはなし

■マレー語講座

ピサン

Pisang

(バナナ)



最近の研究でバナナには多くの健康効果があることが解明されていますが、私も健康と栄養補給のためによく食べるようになり、マレーシアには色々な種類のバナナがあることが分かりました。日本に輸入されているバナナはほとんどがフィリピンやエクアドル、台湾産のもので、甘味だけのものが多いように思われます。一方、マレーシアのバナナは甘味に加えほどよい酸味と粘り気があり、見た目は日本で見るものと比べてずんぐりむっくりですが、とてもおいしいです。私にバナナのおいしさを教えてくれたシニアボランティアのバナナ師匠によると、ラジャ、アブは全体が黒く変色するそうで食べ時のサインだそうです。私は酸味が強い方が好きなので、黒くなる前に食べてしまいます。



ラジャ



アワツ



アブ



ランカ

米どころ

KEDAH

マレーシアの北に位置する我が任地クダ州は国内有数の米どころで、州の旗にもそれを物語るべく稲穂がデザインされています。日本ではゴールデンウィーク前後に田植えをし、秋に収穫を迎えるのが一般的ですが、こちらは三毛作のため、田植えや稲刈りを頻繁に目にします。福島で生まれ育った私には、任地の田園風景がとても馴染み深く懐かしさも感じます。そしてここクダ州には日本、ドイツ、フィリピンに次いで世界で4番目に開設された米の博物館もあります。そんな気になる博物館へ社会科見学に行ってきました！

建物は収穫後の稲を表現したユニークな設計です。



昔の農機具が展示され、水田耕作の歴史を学ぶことができます。



売店のお土産コーナー。試飲でおいしさに感激した玄米茶を2袋購入。そして目を疑うスタッフ直筆と思われるしおりは1つ1リンギット。ご希望の方はご一報下さい!!



入館料はお一人様5リンギット(約130円)良心的!! 校外学習にも最適



世界の米紹介コーナー。ありました日本のお米。CHOKOTO? YAKEIKO? 聞いたことのない品種揃い...



マレーシアの祝祭日

・多民族国家マレーシアでは、それぞれの宗教行事や習慣にちなんだ祝日があり国全体の祝日と地域ごとの祝日とがあります。今回はこの時期を代表する2つの祝日、宗教行事を簡単に紹介します。

タイプーサム (インド系)

・ヒンドゥー教徒のお祭りで、敬虔なヒンドゥー教徒が苦行をすることで神々への感謝を表すとされています。体に太い針を刺すなど危険も伴うため、現在は本国インドでは禁止されておりマレーシアとシンガポールでのみ行われています。体に串を刺し神輿を担いだり引いたりして寺院まで行進します。行進前日にはココナッツを割って道を清めます。地域によって祝日かどうかは異なります。



チャイニーズニューイヤー

・中華系の旧正月・春節で街中に赤い提灯が飾られ、お店の中もお祝い事を意味する赤い物や「福」と書かれた商品が多く並べられます。ミカンは幸運を呼ぶ縁起の良い食べ物とされスーパーでは箱売りのミカンが山積みになっています。公立の学校は1週間ほどお休みになります。
コンシーファツァイ 恭喜發財!! (あけましておめでとう)



州知事表敬訪問

・1月24日にクダ州庁舎にて州内で活動するボランティア、事務所関係者、在ペナン総領事による、ムクリズ州主席大臣への表敬訪問が実現しました。それぞれに活動紹介を行った後、知事のお話を伺いました。実は知事、親日家で知られる現マハティール首相のご子息で、ご自身も日本への留学経験があり、日本人の持つ勤勉さや衛生概念、震災から立ち上がろうとする不屈の精神をクダの人々にも学んでほしいと語っておられました。懇談はマレー語が中心でしたが、雑談では流暢な日本語を聞くことができました。